

# 大学生の消費行動と変身行動による欲求について

佐藤 雄人 ([22011154ys@tama.ac.jp](mailto:22011154ys@tama.ac.jp))

## 1. 研究の目的

本研究は大学生の消費行動と変身行動との関係について明らかにすることを目的とする。

収入が少なく、支出が多い現代の大学生はどの程度消費しているのだろうかという消費行動と大学生が変身行動をする際にどのようなものを必要として、その必要としている変身行動に消費しようとするのか。そこから大学生の消費行動における欲求を分析する。

現代の大学生は経済的に困窮していると言われている。全国大学生協連より行われた「第58回 大学生生活実態調査 (2023年3月1日) より実家暮らしの学生、下宿生ともに「教養娯楽費」「交通費」「食費」の支出が増え、「貯金・繰越金」が減少している、と述べている。

また、現在自己肯定感の低い子供が増加していると言われている。2007年1月、中央審議会答申「次代を担う自立した青少年の育成に向けて-青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について」の中で7年前の調査よりも自信のない子供たちが増えていると言われている。「教養娯楽費」が増えた理由として、自己肯定感を上げるために大学生は変身行動に多くのお金を消費しているのではないのだろうか。「変身行動の消費行動-大学生における変身行動の消費心理-」神山 (2008) は「大学生になってしっかりとした大人になろうと自分に足りない部分を補おうとする。あるいは自分をいっそうランクアップさせようとする。つまり自分をさまざまに変身させるため、『モノ』や『コト』にお金を使って生活をしている」と述べている。しかし、当該論考は2008年のもので現在の大学生と消費心理、変身行動が大きく変わっている可能性が考えられる。

そのために2023年現在、自己肯定感の低い大学生は自分を変身させるためにどのようなものにお金を消費していて、自分自身の不満や不足を解消して満足する自分に変身させるためにはどの程度お金を必要になってくるのか、その変身行動でどのような欲求があるのか明らかにしたい。

## 2. 研究の方法

アンケート調査を行い、大学生の消費行動と変身行動を明らかにするため大学生を調査対象とする。

## 3. 結果分析

調査人数は合計126名である。また、分析は、以下の観点から行った。

- 1) 現代の大学生の収入
- 2) 現代の大学生の消費金額と内訳
- 3) 大学生の変身行動
- 4) 男女別の変身行動
- 5) 大学生の満足のいく生活に必要なお金
- 6) 大学生の変身行動による欲求

## 4. 結論

アンケート調査から、以下の点が明らかとなった。

- 1) 大学生の1ヶ月の平均収入金額は約4万7千円、平均消費金額は約4万8千円、満足のいく生活に必要な平均金額は約7万6千円であること。
- 2) 現在の大学生は最低限の生活をしながら、より良い自分になるために変身行動で多くの「モノ」や「コト」にお金を消費することは当たり前になってきており、その変身行動で女性よりも男性でいっそう顕著な行動は、「ジムに行く」などの男性身だしなみ関連消費、「お酒を飲む」「タバコを吸う」などの遊興関連消

費で、男性よりも女性でいっそう顕著な行動は「化粧品」「ネイルサロン」などの化粧関連消費、身体美化関連消費であること。

- 3) 「外見での変身行動による消費行動」に多く支出することは外見を気にすることで他者からのいい印象を得て、より魅力的な人間と思わせることができ、今の自分を精神と身体の両面で理想的な自分に近づけたいと考えている人、社会的にいっそう好ましい存在でありたい、他者から認められて自己肯定感を上げたい欲求や外見を変身させ、モテたいという欲求があると考えられること。
- 4) 「内面での変身行動による消費行動」に多く支出することは自己肯定感を上げる行動であるとともに、精神的もプラスを与える行動で、息抜きや現実からの一時逃避を目指している。個人的に親しみやすさや活動性の特性において理想と現実の開きが大きな人、社会的望ましさの特性において理想と現実の開きが大きな人、したがって今の自分を精神面で理想的な自分にいっそう近づけたい、現実から逃避したいという欲求が考えられること。
- 5) 「学びに関する消費行動」は自分に備わった性質や才能を改善し、また向上させるためにお金を支出している大学生が将来の自分自身が稼げるため、いい大人になろうと努力するその行動ですなわち将来の自分への投資のための変身行動で今の自分には自信がないが将来自分に自信を持てるようにする欲求があると考えられること。

#### 参考文献

- ・全大学生協連「第58回学生世活実態調査」  
(2023年3月)  
<https://www.univcoop.or.jp/press/life/report.html>  
(参照 2023-12-13)
- ・文部科学省 「次代を担う自立した青少年の育成に向けて-青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について」 (2007年1月)  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/c\\_hukyo0/toushin/07020115/001.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/c_hukyo0/toushin/07020115/001.htm) (参照 2023年-12-13)
- ・神山進 「変身行動の消費心理-大学生における変身行動の消費心理-」、『繊維製品消費科学』、一般社団法人 日本繊維製品消費科学会、pp39-54、2015、
- ・河越麻佑、岡田みゆき 「大学生の自己肯定感に及ぼす影響要因」、『日本家政学誌』、一般社団法人 日本家政学会、pp222-233、2015
- ・富狭泰 「現在の若者の生活環境・意識・行動」、『繊維製品消費科学』、一般社団法人 日本繊維製品消費科学会、pp96-100、1987
- ・塚原康博 「消費における行動ライフ・サイクル仮説の検証」、『生活経済学研究』、生活経済学会、pp27-38、2013
- ・Crowd Works、[https://crowdworks.jp/?tracking=lst-google&rcampaign=%E7%A4%BE%E5%90%8D&rgroup=%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%A6%E3%83%89%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%82%B9&rkeyword=%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%A6%E3%83%89%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%82%B9&gad\\_source=1&gclid=Cj0KCQiAm4WsBhCiARIsAEJIEzX9St\\_wXK56tT51L0HAiDcCsXlhrKCFPPj6Sawsxm\\_GbFt6CsZnEJ8aAj1AEAL\\_wcB](https://crowdworks.jp/?tracking=lst-google&rcampaign=%E7%A4%BE%E5%90%8D&rgroup=%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%A6%E3%83%89%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%82%B9&rkeyword=%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%A6%E3%83%89%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%82%B9&gad_source=1&gclid=Cj0KCQiAm4WsBhCiARIsAEJIEzX9St_wXK56tT51L0HAiDcCsXlhrKCFPPj6Sawsxm_GbFt6CsZnEJ8aAj1AEAL_wcB)